

膳所市民ニュース

空青く若葉は緑 金色の神輿輝き 五社そろり



膳所学区シンボルマーク

さる五月三日、膳所五社総祭が晴天のもと、盛大に斎行された。各神社祭典の後、各社の神輿は石坐神社へ集り、今年度日吉大社山王祭粟津御供当番の若宮八幡神社を先頭に、隊列を組んで各神社を巡行、石鹿太鼓(石鹿つ鼓)を奉納した。

最後に各社の神輿は膳所神社へ集合し、石鹿太鼓の勇壮な響きと共にギヤル神輿のお渡りで膳所の春まつりを締め括った。



写真提供 石鹿フォトクラブ顧問 西川 勇氏

膳所市民ニュース
発行 膳所学区自治連合会
編集 膳所市民ニュース委員会
(膳所市民センター内)
印刷 マルキ印刷株式会社

学区内の世帯数・人口	平成11年6月1日現在
世帯数	6,539
人口	男女計 7,860
	8,588
	16,448

粟津中学校体験学習について

パート1 家庭科保育体験学習

粟津中学校3年生は、家庭科の授業の取り組みのひとつとして、毎年保育体験学習を行っています。

近年、核家族化や少子化がすすみ、小さな子供を知らないといい生徒も多く、「保育」を学習するにあたり、教室内だけの授業では、十分に学んだ理解したりできません。

そこで、幼児に親しみをもち、主体的に学習に取り組む意欲をもつきっかけづくりにしようとして、この保育体験学習を始めた。

具体的には、膳所幼稚園や聖愛幼稚園へ訪問し、子供たちと一緒に遊ぶことによつて、生徒自ら様々なことを学んでいます。



「実際に幼児と遊んでみると、手や足がすごく小さいことに気がついた。それに、授業で習ったように本当に頭でっかちで、ずんどうだった。しかし、幼児は疲れを知らない。僕が逃げても、逃げて追いかけてくる。」

思いっきりパンチをされたので、「メモロ」と言ったら、素直にやめてくれて驚いた。幼児って不思議だ。でも一緒に遊んでみて、幼児のことが少しはわかったような気がした。」

小さなことだけど…… 膳所ボランティア 古切手グループ

このグループ(赤坂京子代表会員数十二名)は毎月第四金曜日に膳所公民館へ集まって、それぞれ持ち寄った切手や膳所支所のロビーにある箱に入れた古切手を整理している。

作業は切手のギザギザを傷つけないように五ミリ程を残して一枚一枚ハサミで切り、普通切手と記念切手とに分け、記念切手は水につけて糊をとり、タオルなどで水気を吸わせた後、古本に挟んで乾かせ、普通切手と一緒に浜大津の「明日都」内の大津市ボランティアセンターへ持ち込む



膳所のグループを見学した日も二千枚を超える古切手を整理することだが「していることは小さいことだけど、お役にたっていると思うと心が豊かになるし、みんなでおしゃべりできる機会があるのもうれしい。」と聞き、このグループの皆さんの気負いのなさをすばらしいことと感じた。

パート2 医療施設へのボランティア参加

夏休みに医療施設へのボランティア参加を呼びかけたところ、多数の参加があった。教師引率型でないので、直接医療施設へ友達を誘って、一日だけでなく何日か続けて参加する生徒もいて大変良かったと思う。

ただ教師が引率しなかったので、ボランティア活動の様子を医療施設の人から聞いてみると、その様子は大変良く今後も是非ボランティアとして来てもらいたいということであった。

今後も地域で粟津中学校の生徒がいろいろな形で活躍できるようにしていきたい。